

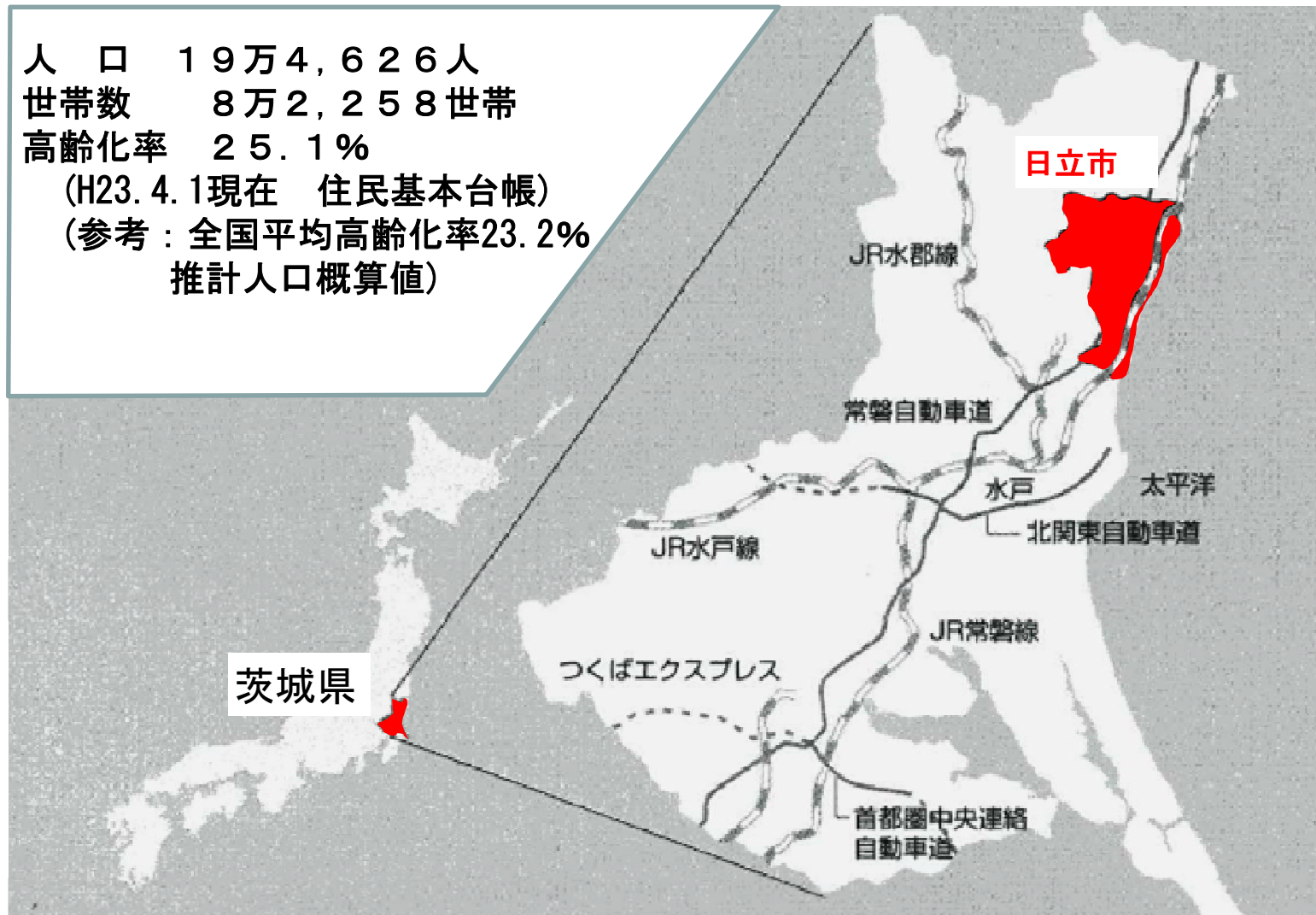
茨城県日立市の事例について



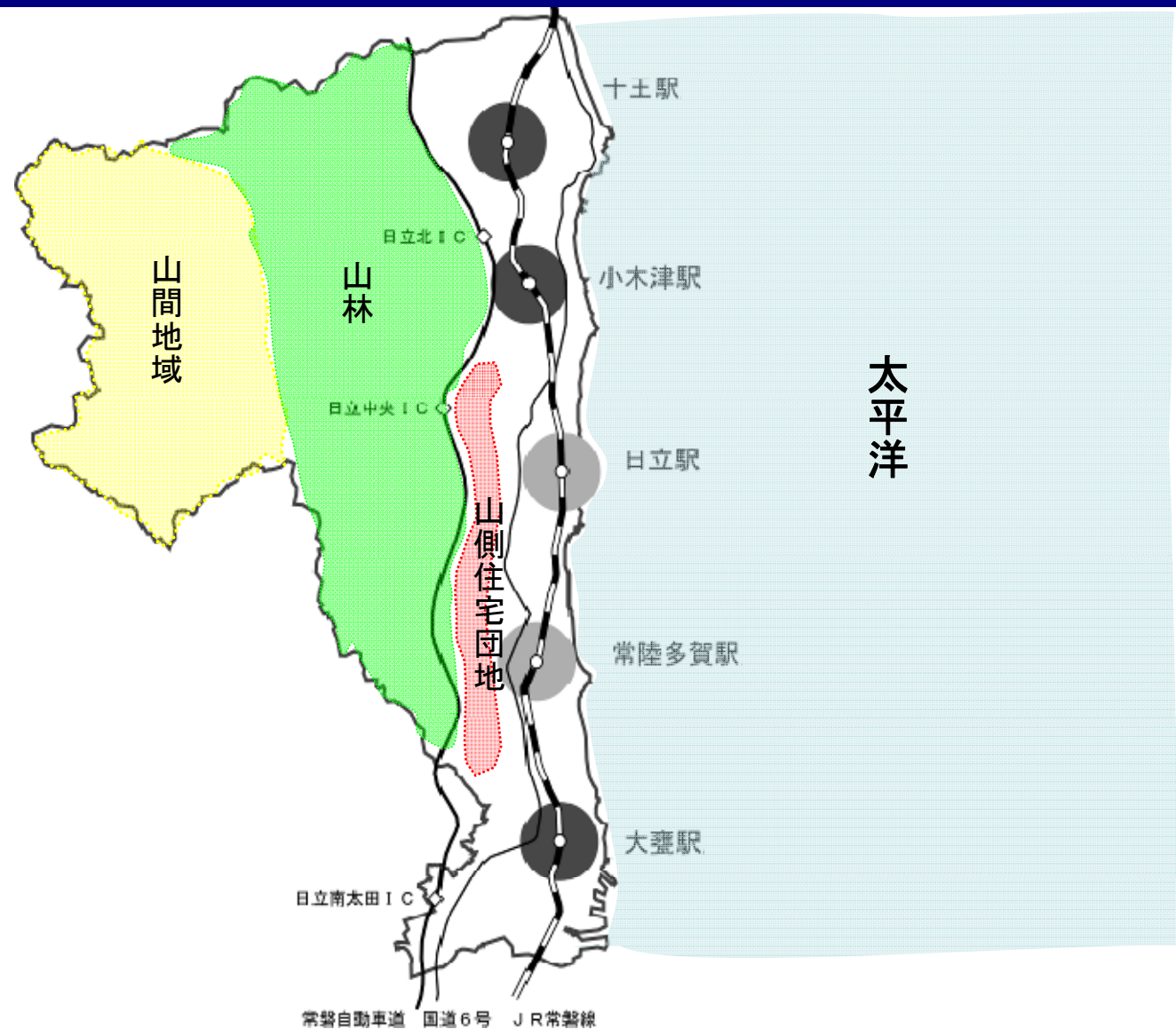
平成24年4月13日
日立市公共交通政策課・NPO法人助け合いなかさと

日立市のプロフィール

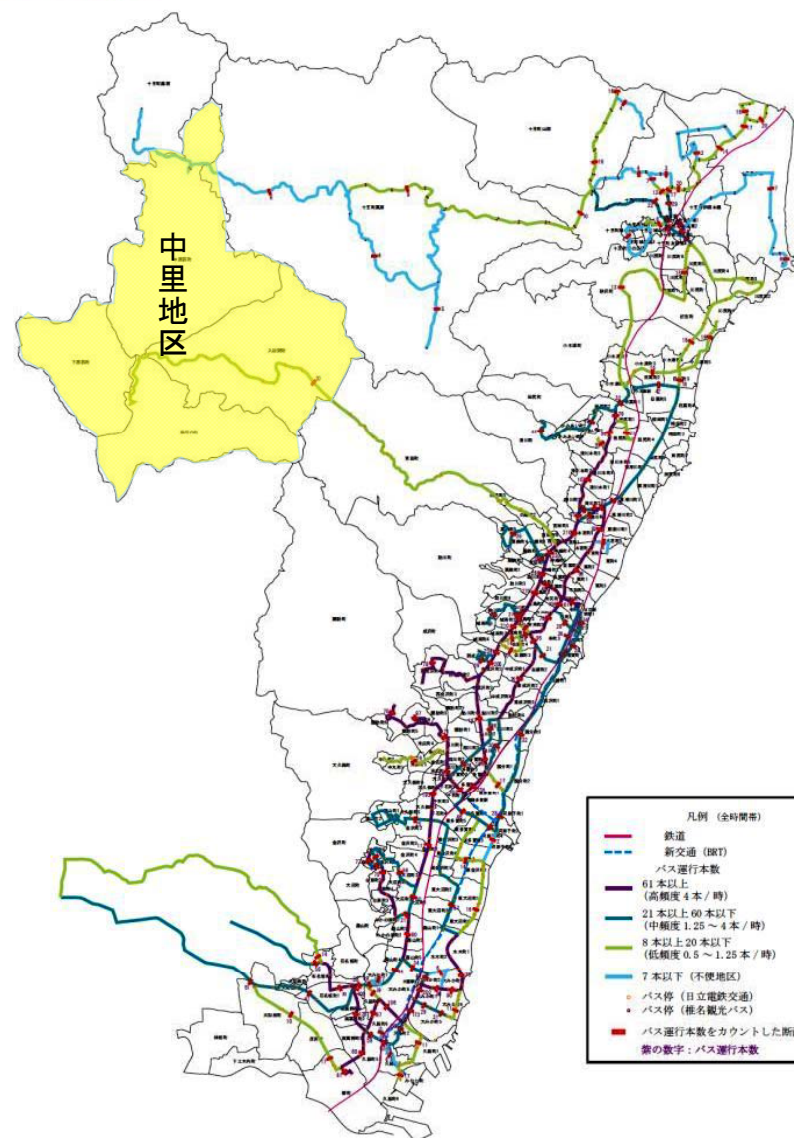
人口 19万4,626人
世帯数 8万2,258世帯
高齢化率 25.1%
(H23.4.1現在 住民基本台帳)
(参考：全国平均高齢化率23.2%
推計人口概算値)



日立市の地形



断面別路線バス運行本数



地域が抱えていた課題



検討委員会設立

- 地域住民(11名)で「中里学区地域公共交通導入検討委員会」を設立
- 日立市社会福祉協議会及び日立市会議に参加



現状把握

- 地域の実態を把握するため、15歳以上の全住民を対象としたアンケート調査を実施

(1週間の外出行動を調査)

回収数 958件 回収率67.5%

(結果)

- 足の確保が必要と思われる人が約50人/日いるということが判明

過疎地有償運送の試行

➤ 日立市社会福祉協議会が
8人乗りワゴン車2台で試行



➤ 利用者から好評

病院や金融機関に、一人で行ける
ようになった。
試行運行が終わったら、こまる。



(利用者)

➤ 試行期間の延長

自治会ごとの懇談会

➤ 15～30世帯の自治会ごとに懇談会を実施
(内容)

地域でNPOを設立して乗合タクシーを運営
NPOの会費を、全世帯から徴収(約2000円/年)



住民が地域内の交通を議論

- シンポジウムを開催し、「責任と費用の分担」に対する議論を高める。
- 地域が乗合タクシーを運行する意義を議論



(関東運輸局の協力でシンポジウムを開催)

NPOが運行

- 過疎地有償運行（デマンド方式）
- 運賃300円/1外出（回数券制度あり）
- 8人乗りワゴン車2台（中古車リース）



デマンド予約は地域の方による手作り地図



中古車リース1日500円と600円

NPOが運行

- 利用者数 5,811人(平成23年度)
3軒に1軒が利用(実態)
全住民が4回/年利用に相当



(利用状況)

効 果

- 地域の問題を地域自ら解決
- 高齢者の外出機会拡大
⇒ 外出すると高齢者は元気に
- 「交通の活性化」が「地域の活性化」に

今後の方針

- 乗合タクシー事業の継続
 - ⇒ 住民から要望がある限り、続ける
- 運行エリアの拡大
 - ⇒ 他市町村や中心市街地まで運行
- 利便性の向上
 - ⇒ 高齢者のみならず、子どもの足にも

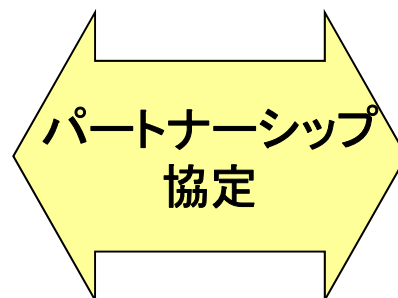
日立市の他の取組み



地域住民とバス事業者が
路線バスの活性化について話し合い



地域住民が望む団地内フリー乗降や
最終便の増便を実施



バスの乗車促進を地域ぐるみで実施

日立市の他の取組み

高鈴台団地

団地内
フリー乗降



乗車率
100.5%



大型スーパー経由

中丸団地

団地内
循環ルート

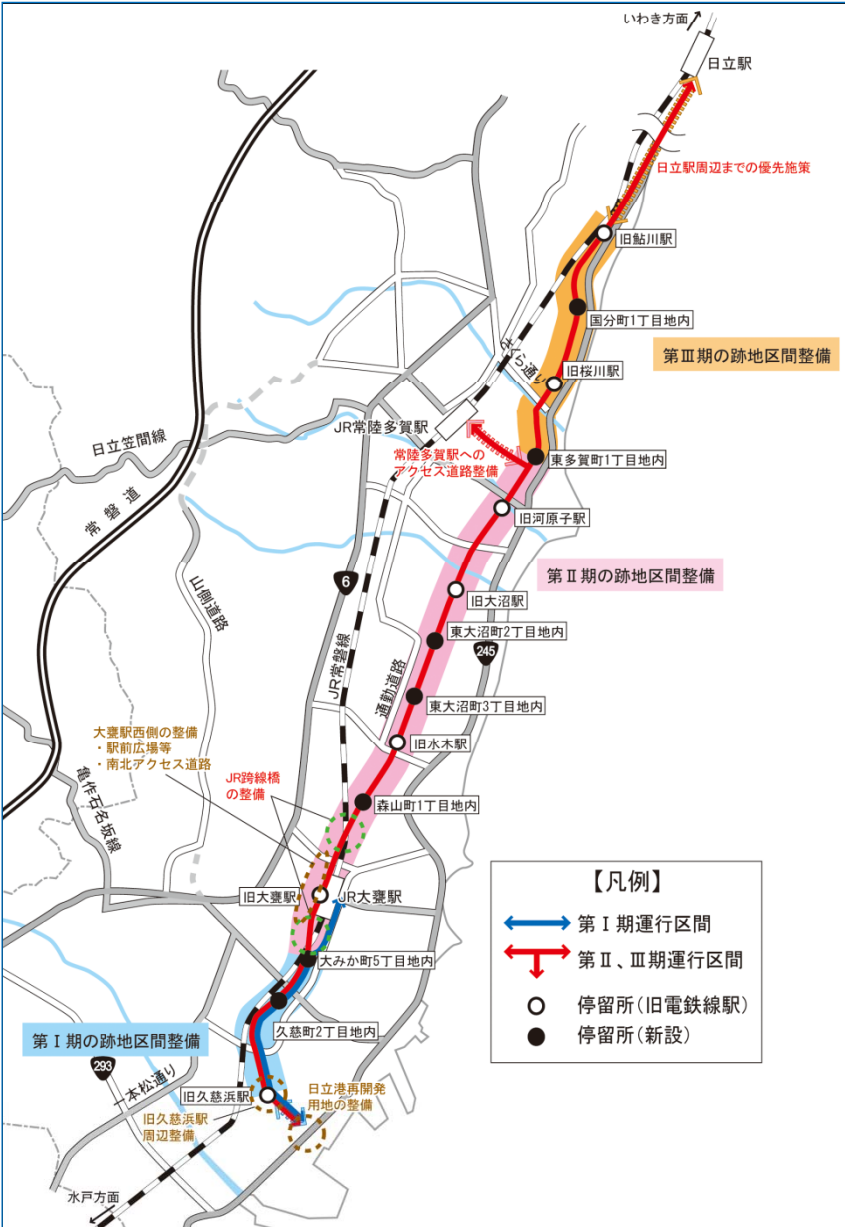


乗車率
120.3%



スーパー経由

日立電鉄線跡地を活用した新交通導入事業



計画概要

- 計画区間 旧鮎川駅～旧久慈浜駅間
- 計画延長 約8.5km
- システム バス高速輸送システム
※BRT:Bus Rapid Transit
- 所要時間 約26分(表定速度 約20km/h)
- 導入予定 第Ⅰ期:H24 第Ⅱ期:H27

整備イメージ

- 単線の専用道路(4m)と歩道を併設
- 約700m間隔に停留所を配置
- 停留所や待避所で車両すれ違い
- JR駅や公共公益施設等へ接続



ご清聴ありがとうございました

